



第73期  
中間報告書

平成23年1月1日から  
平成23年6月30日まで

キヤノン電子株式会社

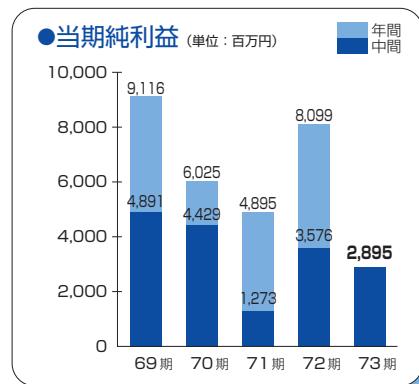
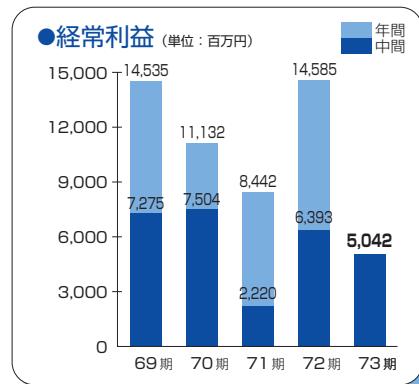
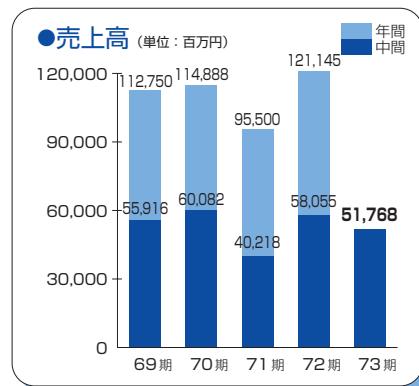
# 第73期中間報告書

平成23年1月1日から平成23年6月30日まで

## CONTENTS

財務ハイライト（連結）	1
ごあいさつ	2
事業の部門別状況	3
連結財務諸表	5
会社の概況	6
株式のご案内／HPのご紹介	裏表紙

## 財務ハイライト（連結）



経営方針

企業品質向上を目指して  
社会人として思いやりを持った人格の形成  
世界から尊敬と信頼を受ける企業と人

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当中間期（平成23年1月1日から平成23年6月30日まで）の世界経済は全体として緩やかに回復しており、特に中国は内需を中心に拡大しています。一方国内経済は、緩やかな回復基調にありましたが、3月11日に発生した東日本大震災の影響により企業の生産活動が停滞し、個人消費も減少しました。為替は、前年同期に比べ米ドル、ユーロともに円高で推移しました。

このような中で当社グループは、積極的な受注活動を展開するとともに、世界トップレベルの高収益企業を目指し、全社を挙げた生産性向上活動、3R（リデュース・リユース・リサイクル）環境活動を積極的に推し進めてまいりました。また、経営全般にわたりムダ排除に徹底的に取り組み、利益体質の維持向上に注力してまいりました。

これらの結果、当中間期の連結売上高は517億68百万円（前年同期比10.8%減）、連結経常利益は50億

42百万円（同21.1%減）、連結純利益は28億95百万円（同19.1%減）となりました。

中間配当金につきましては、株主のみなさまの日頃のご支援にお応えするために、1株につき30円とし、お支払い開始日を8月26日とさせていただきます。

今後も予断を許さない状況が続くと思われませんが、全社員の力を結集して、生産性の向上、売上の拡大、利益体質の維持向上に取り組んでいく所存です。株主のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成23年8月

代表取締役社長

酒 巻 久



## コンポーネント部門



デジタル一眼レフカメラ用シャッターユニット

デジタルカメラ市場は、震災による生産調整の影響はありましたが一眼レフタイプの市場は拡大を続けており、交換レンズの需要も増加しました。

当社は、セットメーカーへのニーズに的確に対応し、積極的な受注活動を展開してきました。この結果、一眼レフ用シャッターユニット、交換レンズ用絞りユニット、防振ユニットともに堅調に受注いたしました。コンパクトカメラ用シャッターユニットは、主要顧客の生産調整等により受注減となりました。ムービー用絞りユニットは、ムービー市場の停滞および価格下落により厳しい状況で推移しました。紙幣読取センサーは、受注を伸ばしました。

レーザープリンターおよびデジタル複合機用のレーザースキャナーユニットは、生産性の向上、構成部品の内製化等、生産体制強化を積極的に推し進めて、受注確保に取り組みました。事務機用精密加工部品は、生産調整はありましたが受注が堅調に推移しました。

これらの結果、当部門の連結売上高は284億95百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

### 売上高

(単位：百万円)



レーザースキャナーユニット

## 電子情報機器部門およびその他の部門

ドキュメントスキャナー市場は、文書の電子化需要により拡大傾向があり、スキャン業務の分散化により低価格・コンパクトタイプの需要が増加しています。

ドキュメントスキャナーimageFORMULAシリーズでは、A3対応の高速、高画質の「DR-6030C」をラインアップに加えるとともに、コンパクトタイプ分野へは、超小型ポータブルタイプの「DR-150」を中心に積極的な販売活動を展開してきました。北米市場では、金融機関の経営環境が改善せずチェックスキャナー（小切手読取用スキャナー）の売上が落ち込みましたが、欧州および国内市場では、コンパクトタイプを中心に販売数量を伸ばしました。アジア、南米等の新興国市場での売上も伸びており、特に中国では金融機関向けを中心に売上が増加しました。6月には新たに、省スペースでスタイリッシュなデザインの高速スキャナー「imageFORMULA DR-C125」を発表し、各メディアで好評を博しています。



imageFORMULA DR-C125

### 売上高

(単位：百万円)





プレアAT-100

ハンディターミナルは、物流・流通業界をターゲットにスキャナー一体型の「プレアLT-100」、多彩なビジネスニーズに対応した携帯電話機能搭載の「プレアAT-100」等のラインアップで積極的な拡販活動を展開いたしました。



LBP用表示パネル

レーザープリンターは、受注確保に向けて、効率的な部品調達、生産体制の拡充に取り組むとともに、品質強化に努めてまいりましたが、震災の影響による生産調整により受注が減少いたしました。

情報関連事業は、情報システム投資が伸び悩む中、厳しい状況で推移しています。当社グループでは、業務改革サービス（ログマネジメント）、情報セキュリティ対策サービス（SML）、名刺管理サービス（アルテマブルー）、顧客情報管理サービス（CRM）等の受注活動を積極的に展開してきました。また、システム開発・保守・運用案件の獲得に努めるとともに、銀行向け情報系システム（entrance Banking）等のパッケージソフトウェア販売に注力してきました。

環境機器事業は、小型電動射出成形機、小型三次元加工機を主力商品として代理店の開拓等、販路拡大に取り組みました。

精密加工事業は、受注が減少しました。

これらの結果、電子情報機器部門およびその他の部門の連結売上高は232億72百万円（前年同期比12.2%減）となりました。



## 連結財務諸表

### 中間連結貸借対照表(要旨) (平成23年6月30日現在)

単位：百万円

科 目	当中間期	前期 (ご参考)
(資産の部)		
流動資産	(51,765)	(53,641)
固定資産	(38,110)	(37,303)
有形固定資産	32,261	31,568
無形固定資産	1,601	1,774
投資その他の資産	4,248	3,960
資産合計	89,876	90,945
(負債の部)		
流動負債	(23,887)	(26,447)
固定負債	( 3,107)	( 3,139)
負債合計	26,994	29,587
(純資産の部)		
株主資本	(63,140)	(61,722)
資本金	4,969	4,969
資本剰余金	9,595	9,595
利益剰余金	48,647	47,228
自己株式	△ 71	△ 70
評価・換算差額等	( △ 537)	( △ 648)
その他有価証券評価差額金	173	107
繰延ヘッジ損益	47	-
為替換算調整勘定	△ 758	△ 755
新株予約権	( 244)	( 249)
少数株主持分	( 34)	( 34)
純資産合計	62,881	61,357
負債及び純資産合計	89,876	90,945

### 中間連結損益計算書(要旨) (平成23年1月1日から平成23年6月30日まで)

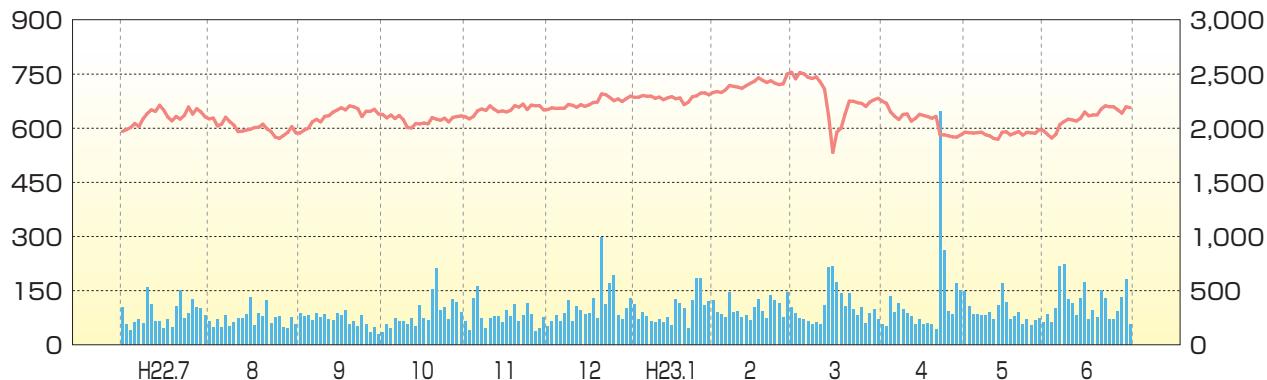
単位：百万円

科 目	当中間期	前年同期 (ご参考)
売上高	51,768	58,055
売上原価	41,622	45,542
売上総利益	10,146	12,512
販売費及び一般管理費	5,354	5,907
営業利益	4,792	6,604
営業外収益	256	97
営業外費用	6	309
経常利益	5,042	6,393
特別利益	65	8
特別損失	324	470
税金等調整前中間純利益	4,784	5,931
法人税、住民税及び事業税	1,940	2,559
法人税等調整額	△ 51	△ 150
少数株主損失	△ 0	△ 54
中間純利益	2,895	3,576

### 株価(終値) および出来高の推移 (平成22年7月～平成23年6月)

■ 出来高(千株)

— 株価(円)



## 会社の概況 (平成23年6月30日現在)

### ■ 主要な事業内容

部 門	主 要 製 品
コンポーネント部門	シャッターユニット、絞りユニット、ステッピングモーター、磁気ヘッド、磁気センサー、レーザーสキャナーユニット、プリント基板実装
電子情報機器部門 およびその他の部門	ドキュメントスキャナー、マイクロフィルム機器、ハンディターミナル、レーザープリンター、業務分析ソフトウェア、情報セキュリティソフトウェア、顧客情報管理システム、名刺管理サービス、システム開発、FA機器、環境関連機器

### ■ 使用人の状況

使用人数 (連結)	前期末比増減
5,645名	+569名

使用人数 (単独)	前期末比増減
1,836名	+123名

■ 発行可能株式総数 60,000,000株

■ 発行済株式総数 42,206,540株

■ 株主数 21,111名

#### ■ 大株主 (上位10名)

株 主 名	持株数	持株比率
キヤノン株式会社	22,433千株	53.2%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,846	9.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	924	2.2
第一生命保険株式会社	414	1.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	244	0.6
株式会社みずほコーポレート銀行	234	0.6
キヤノン電子従業員持株会	226	0.5
みずほ信託銀行株式会社	201	0.5
EMILIA イーエフジー ノ コラテラル ノ トリーティア アカウト	200	0.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	142	0.3

注. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式 (33千株) を控除して算出してあります。

### ■ 取締役および監査役

地 位	氏 名
代表取締役社長	酒 巻 久
取締役副社長	鈴 木 善 昭
専務取締役	池 田 繁
常務取締役	田 原 哲 郎
常務取締役	江 原 孝 志
常務取締役	橋 元 健
常務取締役	後 藤 良 秋
常務取締役	大 谷 一 夫
常務取締役	石 塚 巧
常務取締役	川 名 達 也
取締役	杉 山 一 英
取締役	黒 沢 明
取締役	常 藤 恭 司
取締役	厚 木 孝 夫
取締役	内 山 毅
取締役	黒 澤 明
取締役	新 井 忠
常勤監査役	神 邊 純一郎
常勤監査役	渋谷 潤
監査役	恩 田 俊 二
監査役	渡 辺 和 紀

■ 会計監査人 新日本有限責任監査法人

## 株式のご案内

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
上記基準日	毎年12月31日
中間配当基準日	毎年6月30日
期末配当基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人 および 特別口座 口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

株式事務のお問合せ先

住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金の振込指定等のお手続きは、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問合せください。  
未払い配当金のお支払い手続き、または特別口座に記録された株式に関するお手続きは、下記 みずほ信託銀行にお問合せください。

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第1部
証券コード	7739

## HPのご紹介



トップページ



財務情報

インターネット  
ホームページ

<http://www.canon-elec.co.jp>

# Canon

## キヤノン電子株式会社

本 社

〒369-1892 埼玉県秩父市下影森1248番地  
電話 0494-23-3111

東京本社

〒105-0011 東京都港区芝公園三丁目5番10号  
電話 03-6910-4111

表紙写真

撮影 山岳写真家 新井靖雄氏 (秩父市在住)  
昭和21年埼玉県秩父市生まれ  
環境省自然保護指導員  
奥秩父をテーマにした山岳写真の撮影を続けている  
山岳写真集「奥秩父の四季」、  
新井靖雄写真集「奥秩父」を出版